

横浜市小学校社会科研究会

6学年部会②

## 研修会記録

第4号

令和5年 10月4日

横浜市小学校教育研究会

会長 濱田 哲也

横浜市小学校社会科研究会

会長 加藤 和之

同 学年部長 金井 伸一

【提案日時】

9月6日(水)

提案 坂本 実 先生(川和東小)

【会場】

平沼小学校

司会 能登 清仁 先生(阿久和小)

記録 高木 琴子 先生(黒須田小)

1 提案理由 単元名

単元名「明治政府の新しい国づくり ～未定～」

2 提案者より

○単元について

学習指導要領にある「明治政府が明治維新を機に近代化を進めた」ことにつながる単元構想になっているか。

本時は、開国について取り扱うが本単元は明治政府が近代化を進めたことについて理解を深める単元である。⇨近代化を進めるきっかけになったことを捉えることができるようにしたい。

○資料が適切か。

3 協議

○単元について

・開国に至るまでの「アヘン戦争」の扱いは適切なのだろうか。

・そもそも何をもって「開国」とするのか。

→和親条約締結後なのか、修好通商条約締結後なのか

・単元の最後に「あの時、開国してよかったのだろうか。」という問いで学習するのはどうか。

・資料や根拠があったうえで話し合いが行われるようにしたい。

○児童の実態に合わせた手立て

・岩倉使節団が見てきた経路やものにポイントを当ててみるのも外国との関係を押える上でよいかもしれない。

・江戸幕府の反対意見を前単元の学習から鎖国の良さを理解して話し合いに臨めるとよいのではないか。

→江戸幕府なのか今の自分なのかどの視点で学習問題を考えるかを考えておく必要がある。

4 講師の先生より 荇田小学校 校長 伊藤智樹 先生

- 反対意見とは具体的にどのようなものがあったのか、根拠をもった話し合いが必要になる。
- 同じ時代、単元でも児童の実態に合わせた教材を選択すると見え方が違う。
- まだ単元構想の段階なので今後、具体的な資料や本時について詰めていく必要がある。

文責 坂本 実 (川和東小学校)